

《小田原城跡を歩く》

暖冬で穏やかな日差しの中、今回は少し足を西に伸ばし、小田原へ出かけました。JR 小田原駅で、講師 大貫先生と合流、先生のご案内で中世の小田原城址から近世の小田原城址を巡ってきました。

＜実施日 令和2年2月4日（火） 参加者 21名＞



《小峯御鐘ノ台大堀切東堀》

ここは戦国時代に構築された、東堀、中堀、西堀の3本からなる空堀のあったところです。豊臣秀吉の小田原攻めに対し北条氏康が総構といわれる周囲約9 kmの堀や土塁を構築したいわば防衛施設の一部。案内板の前で講師の解説を聴きました。



《空堀の中》

ここを通る敵に、土塁のうえから矢を射かけ、防戦したという。
こんなところにいると、上からやられるぞ・・・。



《土塁の上》

この辺りは城兵の屯舎があったか？

小田原城のうち毒椶平と呼ばれた場所で、少し広い台地。現在は植林された城山公園。



《小田原城内で》

昼食後の午後、最近リニューアルされた天守閣の中の展示を見学しました。

小田原城天守閣を中心にしたジオラマは、その位置関係も立体的に良く分かり、見応えがありました。



《小田原城天守閣内で》

城内で出陣を待つ・・横浜の、西柴から駆け付けた「女武士」・「男武士」の面々。



《小田原城本丸広場》

見事戦勝・・「おのおの方・・記念写真を撮りましょう」

真冬ながら、青空に・・白雲も・・



《小田原市郷土文化館にて》

城内の一角に郷土文化館がありました。

奈良時代から小田原北条氏、小田原藩時代資料など古代から近代にいたる、小田原の歴史を語る資料が展示されていました。

皆さん熱心に見学。



《小田原城・大手門跡》

江戸時代の小田原城大手門の櫓台北側の石垣です。大正時代になって、この櫓台の上に鐘楼が設けられました。

現在も、朝夕6時につかれ、時を知らせている由。

小田原の土産物を少し買って、帰りました。

(お わ り)